シニア会総会

　2021/02/25

開催日時：2021 年2 月25 日（木） 14:00～16:30

開催場所：オンライン上（Zoom を使用）

参加者：杉山、小林、竹澤、城戸、常本、長尾、疋田、三浦、後藤、臺丸谷、小野、石坂、岸浪、佐藤、遠藤、野口、近久、宮崎（事務局）

議題１　２０２０年度シニア会活動報告

資料１に基づき、杉山先生ならびに関係幹事から活動報告をいただいた。

議題２　２０２０年度シニア会会計報告

画面の共有がうまくいかず、次の議題に進んだ。

議題４の後に本説明があった。

議題３ ２０２１年度シニア会活動計画

資料３に基づき、杉山先生から活動計画の説明があった。

議題４ ２０２１年度シニア会予算案

資料４に基づき、小林先生から説明があった。

上記説明に関して一括して承認した。

会員間の近況情報交換を簡単に行なった。

野口先生：今でも企業関連の指導活動

常本先生：エンジン関連教科書について紹介

城戸先生：現在支部担当幹事、3/17日にシニア会の報告を行う、任期は後1年

話題提供

杉山先生　「シニア会の発足と６年間の活動を振り返って」

* 2014年度に立ち上げ
* 一般市民を対象とした公開講座の開催等について議論
* 杉山先生の超音速流に関する話題提供の簡単な説明があった。
* 光合金、ダイナックス等の工場見学
* シニア会イベントの参加者写真を紹介
* 2018年見学会の直前に北海道胆振東部地区地震
* 2020年はコロナウィルスにより、ほとんどの活動が休止

感想は：

* 遠藤先生：佐賀大学と共同して洋上風力について研究活動を行なっている。対象は可変ピッチのメカニズム。先方は室蘭工大出身の渡部?先生。

自由意見交換（敬称略）

* 城戸：今までの活動がよくわかった。
* 長尾：ものづくりセミナーを担当、テーマについて助言をいただきたい。
* 近久：オンラインの交流が慣れてくると結構いいものかもしれない。オンライン飲み会もあり得る。能開大について簡単に紹介。
* 後藤：野口先生にお世話になった。
* 臺丸谷先生：６０年間続けた武術空手道部を後見人がいなかったので終了。
* 石坂：産学官コーディネータを担当していた。シニア会メンバーによるネットワークが有用であった。高校生対象の発信も行い、多少の効果があった。生涯学習課や新聞社にも協力を得た。
* 常本：室蘭の活動に敬意を表する。北見では定年後、北見を去る先生が多い。また、退会する先生も多い。５５歳以上のシニア会の参加の可能性は？　→ 近久： 現役の先生がどの程度興味を持ってもらえるかが課題。
* 竹澤：昔お世話になった諸先生にご挨拶。支部長会議で他支部から注目されていた。
* 岸浪：杉山先生の活動に敬意を表する。去年、コロナでトーンダウン、これからを見つめたい。室蘭は年齢の近いシニアが多いので連携が保たれている。
* 佐藤：シニア会の様子は了解していた。鉄道時代は野口先生、臺丸谷先生にお世話になった。現在の会社は車両と機械部門がある。JR関連は勿論のこと、札幌市の地下鉄の検査、エスカレータや自動改札機のメンテナンスを行なっている。若手の教育を担当。ここで４年目。JICAの指示の下でインドネシアにおける高速鉄道の導入相談に対応している。
* 遠藤：シニア会の予算源について質問。自身は会費を払っていないので恐縮。
* 小林：道東は活動が低調で申し訳ない。自身は細々と研究をしている。昨年もエルゼビアのジャーナルに地震低周波振動による破壊現象に関して投稿。歴史分野では６０代は若手、７０代は中堅。ジャーナル論文研究について説明。
* 野口：杉山先生の話題提供により６年間を振り返った。熱意に敬意を表する。石坂様、長尾様に感謝。佐藤様に期待。三浦様にも感謝。
* 小野：3月末で退任。4月以降は平日ゴルフが楽しみ。水素関連の発展に期待。この分野で貢献を継続したい。１年飛行機に乗らないのは初めて。オンラインもいいが実際に見ることの重要性も感じている。
* 竹澤：野口先生が多少丸くなられているので、気づかなかったことをお許し願いたい。
* 疋田：杉山先生の話に思い出を感じる。立ち上げに参加。１期で終わらずこれまで続いた。メンバーは固定化している。現役の会員を引き入れるのは難しさがある。12月に忘年会を行なっていたが、今回はなし。オンライン飲み会も人が多いと難しい。順番に話をする形式になる。
* 三浦：杉山先生に感謝。小野様には技術士会の北海道支部で全国大会向け講演を頂き、感謝。評判がよかった。佐藤様には溶接関連の技術でお世話になった。安藤様は一昨年、退職。近久先生の本について言及、（千歳川）遊水地のソーラー利用の可能性に興味がある。小野さんの水素吸蔵合金に期待。
* 近久：　再生可能エネルギーで重要なのは出資者になるなど、住民の参加。製鉄部門におけるCO2削減は重要。水素を直接用いなくても、水素によりCO2を還元して作ったコークス利用などもあるだろう。
* 最後に個別の先生ごとに簡単なオンライン挨拶があった。

近久記録